

# 1 期生フォローアップ藤谷塾 議事録

開催日時：令和元年 6 月 5 日（水）7：00～8：00 テレビ会議

## 近況報告

### ● A：

内科で活動、スムーズに動けている。看護師への教育が不十分なので今後力を入れていく。

### ● B：

外科で活動、15 名ほどの患者を担当。手術でカメラ持ち等介助に入ることもある。悪性疾患ターミナル期の患者も多いので緩和ケアも行っている。看護師が少ないので病棟業務も行っている。

（藤谷先生）

カメラ持ちとは？

→見やすいように自分で調整したり Dr から指示受けて調整したりしている

### ● C：

4 月から新たな職場で勤務。病院のシステム等を覚えている段階。今後学んだことを還元できるようにしたい。臨床推論など日常的にできる環境で勉強になっている。

## 塾長より

I 病院は医師も多くて、特定ケア看護師 3 人いるが有効に働いているか？

→時間外が多い。内科にコンサルした一部が自分たちに回ってくる感じ。

なぜ時間外が多い？どこが問題？

→患者と話していると時間がかかる。

夕に回診があり回診終わらないと業務終了できない。

やるべき業務にフォーカスして回していけないといけない。

そうしないと内科的なフォローもできなくなる。

### ● D：

整形外科入院患者の内科的管理。活動としては順調と考えているが、4 月から内科医師が減っていることもあり普段相談している内科 Dr への負担が大きいのではないかと懸念している。手順書の運用を考えていかなければならないと感じている。

## 塾長より

手順書に関しては、ある程度慣れてくれば施設として阿吽の呼吸で実践につながられる。

望ましい手順書・運用の在り方を考えることは今後の課題だろう。

担当者より

個々の症例を振り返り、手順書のアップデートすることが大事。  
安全が担保されるように手順書自体を改訂していくことが大事。

● E

来月から1ヶ月間、青森県の診療所に派遣に行く予定  
塾長より  
困っていることを把握して対応するように！

## 症例検討

症例：入院中の嘔吐、胸部不快感の症例

### NOMI

- ・手術 補液 鎮痛
- ・腸管虚血っぽくて 血管閉塞所見ければ NOMI 疑う

(塾長コメント)

解剖の理解が重要

門脈は腸管からの栄養を運ぶ

- ・左胃静脈、脾静脈など
- ・上腸間膜静脈
- ・下腸間膜静脈

門脈内ガス

昔は虫垂炎などでもみられたが最近は早期発見できるようになっているので少ない

NOMI を疑う時

➡炎症所見、腹が張る、謎の乳酸アシドーシス、ショック、単純 CT で何かおかしい

ダイナミック CT とる

動脈相→造影されれば虚血ではない

次に遅延相（静脈相）→造影されれば虚血ではない

本症例では腎機能の問題もあり造影 CT とれておらず NOMI かどうかは分からない  
手術しなければ分からない

その他：

9月の地域医療学会で特定ケア看護師のシンポジウムを行う予定（派遣の報告など）